

そのおき

第78号

園沖公民館
発行：中村恵一

元日が終わろうとしていた、 午後4時10分に起きた地震 で思うこと…。

令和6年1月1日、新年を迎え家族が揃い、各地の神社やお寺に初詣に行つて、「今年も良い年になりますように」とお願いごとをして、笑顔の一日が終わろうとしていた午後4時10分…。家族の笑顔がなくなりました。

能登半島を震源とした震度7という大きな地震が発生。その後、この地震は「令和6年能登半島地震」といわれ、多くの犠牲者を出すことになりました。特に、輪島市と珠洲市、穴水町などの奥能登に甚大な被害が出ています。

この能登地方の地震としては、記録が残る明治18年以降で最大規模だそうです。長野市内も揺れましたが、園沖に

は被害がなかったようです。

大雨や大雪などは、予報によつて事前に対応ができますし、火災は、普段から気を付けていれば防ぐことができそうですが、地震だけはどうすることもできないのが現状です。

しかし、いま一度、定期的に家族で地震が起きたときには、どう行動するかをシミュレーションしておくことが重要になると思います。

例えば、寝室に「シューズと懐中電灯」を置いておくことだけでも、逃げるときに役立つのではないのでしょうか。

また、9月の「防災の日」に合わせた避難訓練も回数を増やすことも大事なことでないかと思えます。

無病息災を願う「どんど焼き」

令和6年1月13日(土)に、「どんど焼き」が行われました。元来は、「正月飾りや書き初めなどを焼いた煙で身体を清めること」で一年を無病息災を願う「意味がありました。焼

かれた炎が高く上がるほど、その年の作物が豊作になると信じられています。古いものを清め新しい年を迎える日本の文化の一環として、重要な意味を持っています。一般的

には、小正月の1月15日に行われますが、時代の流れで開催日は地方によって違います。今年も、久しぶりに雪が降る中の開催になり、能登半島地震の犠牲者を追悼するため「黙禱」から始まりました。皆様にとつて、どうか良い年になりますように。



晩秋の日だまりの中で 皆で食べる焼き芋の味…

「焼き芋大会」

令和5年10月28日、園ネット主催による「焼き芋大会」が開催され、今年も多くの区民が集まりました。

今年、里山探検や花桃の里整備に加え、弓矢体験、ツリーハウス、「スウェーデントーチ」やフィンランドのカレリア地方の伝統的なゲームを元に開発された「モルック」

というスポーツが行われ、子どもから高齢者まで楽しむことができました。いつも住んでいる近くに、こんな素敵な里山が園沖地区にあることが素晴らしいですね。

園ネット、勢年団を含め、里山の整備にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



「子育て懇談会」

令和6年2月3日、長野市
 人権教育推進委員の米山秀一
 氏をお招きして、人権同和研
 修会を開催。今回は、「子育て
 懇談会」と題して、子ども
 と親の間にある差別を考える
 内容にしました。

まず、DVDを観ます。大
 きなテーマは『防ごう子ども
 の虐待』です。DVDの中で
 は、「価値観の押し付け」「エ
 ゴの押し付け」「発達への不安
 と孤立」があり、観た後に「お
 しるこ」を食べながら参加者か
 ら感想をのべる時間を設けま
 した。

多勢の方が参加され、熱心
 にほかの方の意見に耳を傾け
 ていました。

「しつけ」と「体罰」 の境目は…

「しつけ」とは、子どもの人
 格や才能などを伸ばし、社会



米山秀一氏

において自立した生活を送れ
 るようにする目的から、子ど
 もをサポートとして社会性を育
 む行為。対して「体罰」は、子
 どもの身体に何らかの苦痛を
 引き起こし、または不快感を
 意図的にもたらす行為です。

コロナ禍の緊急事態宣言に
 よる外出自粛期間では、家族
 の絆が深まったという良い側
 面もあれば、家庭内でのドメ
 スティックバイオレンス(DV)と
 児童虐待もあつたと言われて
 いました。自分がしつけだと
 思っている行動も、日常的に

心の中にある 「ものさし」って何？

人は誰でも心の中に「もの
 さし」を持っていきます。誰か
 と話すときや接するとき、
 これまでに経験したことや、
 見聞きしたこと、照らし合わ
 せて、「この人は○○だからこ
 うだろう」「ふつうは○○だか
 らこうだろう」というように、
 あらゆるものを「自分なりに解
 釈する」という脳の機能によつ
 て引き起こされることを「ア
 ンコンシヤス・バイアス(無意
 識の思い込み、偏見)」とい
 うそうです。

例えば、自分と違う言葉使

様、ありがとうございました。

新しい試み…

園ネット代表の吉澤憲一さ
 んが、土曜日に園沖区の公会
 堂を開放して、子どもや保護
 者が気軽に集まれる場所にし
 ませんか？ とのアイデアが
 出ています。1年を通して、
 地区の皆が集い、コミュニケ
 ーションが出来る場所を設け
 るなんて、ステキな話ではな
 いでしょうか。



「アンコンシヤスバイアス」って 知っていますか？

新成人 20

令和6年1月6日、安茂里公民館において、「安茂里地区成人祝賀会」が開催されました。



今年度、安茂里地区では276名の方が成人を向かえ、祝賀会には195名が出席しました。当地区では、2ブロックの吉池竜駿さんが新成人となりました。おめでとうございます。

吉池竜駿さんから、メッセージが届いていますので、ご紹介いたします。

社会貢献を考え、実践していける大人に成長したい

吉池 竜駿

私は長野市を離れて、現在は他県の工業系の大学で学んでいます。

多様な分野でも知識が深まるように、友達や先輩との交流を大切にしています。同時にプロジェクトなど様々な活動や経験を通じて、社会貢献を考え実践していける大人に成長していきたいと思っています。

大学生活はとても忙しいですが、バランスの取れた生活を心がけて健康に過ごしていきたいです。

来年は、手作りの「しめ縄」でお正月を迎えませんか

昨年12月17日(日)、園沖公会堂にて「しめ縄作り講習会」が行われました。



今回も3ブロックの竹村彰正さんの指導を受けながら、皆さん黙々と作業を進めていました。

子どもから大人まで、立派なしめ縄を作り上げていました。



普段はあまり見ることもない、しめ縄作りの工程を最初から見る事が出来たのとても良い経験でした。

皆さんも来年は参加して、実際に体験してみたいかがでしょうか。

編集後記

今年度も公民館行事にご協力、ご参加いただきましたありがとうございます。コロナ禍も落ち着き、色々な行事が復活してきた一年でした。一番印象的な行事が、「焼き芋大会」です。ツリーハウスやブランコで遊ぶ子供たちの笑顔。美味しい焼き芋や焼き野菜を食べながら団らんする光景。皆が笑顔で楽しい幸せな時間でした。

初めての公民館役員で不安もありましたが、役を受けたからには「とにかく楽しんでやってみよう！」という気持ちでした。

役員の方皆さん、園沖の皆様のおかげでいただきながら、一年間楽しく務めることができました。ありがとうございます。(西澤真理子)